

宅建 俳壇

俳句

水無月にちよつと一息雨上り

窓開けてお囃子聞こえて阿波の盆

名調子よしこの偲びしお鯉さん

孟秋に花咲く酩酊^{めいてい}夜空にて

徳島南支部 高橋 剛

(高橋商事)

短歌

「孫と梅雨」

幼孫家へ来るなり仏だんの

鐘を鳴らして頭を下げる

二才児の孫はじじの顔を見て

だっこだっこ両手を上ぐる

ぶどう苗植えて四年目一房の

黄緑色のマスカット見つく

つゆ晴れ間あじさいの花さ庭辺に

色づく様の変化味おう

徳島北支部 清水 博

(あいあいホーム)

梅雨空に綾なす薔薇の雫受け

ゆるりゆるりの透けし蝸牛

事務局 藤中 英子